

## 番組審議会議事録

開催年月日：平成 25 年 9 月 30 日(月) 16 時 00 分～17 時 00 分

開催場所：アクア木更津 7F 会議室

委員の出席 委員総数 7 名

出席委員数 6 名

出席者の氏名： 藤波陽四郎（委員長）、早川令子（副委員長）、渡辺知尚、  
鈴木登、前沢幸雄、高山栄作

欠席委員の氏名： 村重正明

放送事業者側出席者： 石村比呂美、池田和隆、兼平健一

### 1. 議 題

- ・「ふらっと富津」（2013 年 9 月 18 日放送）について

（渡辺 委員）

- ・ゲストの紹介を詳しくされており、どのような活動をされている先生なのか、イメージをしやすかったです。
- ・ゲストが市民の方で、地域の魅力を自らの声で発信していたことで、放送がとても身近に感じ、好感がもてました。
- ・この放送がきっかけで、句碑が富津市役所にあるということを知ることができ、是非一度句を読んでみたいという気持ちになりました。
- ・対話の途中に音楽を入れ、番組を 2 部構成にする工夫が見られ、BGM も番組内容と非常にあっていて、とても聞き取りやすい番組になっていたと思います。

- ・ゲストの方がもう一人のゲストの方を紹介しており、アナウンサーとゲストの方達の関係が分かりにくかったです。ゲストの紹介は、統一してアナウンサーが担当すればよいのではないかと思います。
- ・資料館の紹介をしていましたが、資料館は、リスナーが自ら事前に連絡を取り了解を得られないと入ることが出来ないようなので、連絡先も番組で紹介した方が良いと思いました。連絡先を紹介できないのであれば、番組で紹介する意味がないと思います。
- ・対話の途中の音楽と番組内容のギャップが大きすぎる印象を持ちました。

(鈴木 委員)

- ・富津の俳人としての織本花嬌を取り上げたが、富津市役所にある句碑、織本家の資料館の紹介などは初めて知りました。
- ・番組後半は小林一茶との交流に力点が移って、花嬌と一茶の交流を通じて、当時の富津の経済の豊かさが感じられるとともに、江戸との交流が考えていた以上に活発であったと知りました。
- ・織本家の子孫についても紹介されていて、花嬌をより身近に感じることができました。
- ・NHKのテレビ番組の紹介をしながら、一茶の心模様を想像させる点は余韻があって良かったです。
- ・資料館の連絡先、場所の説明がなかったのは残念でした。
- ・番組内で出てきた花嬌の「嬌」、「対潮庵」の字の説明がなかったので、後で調べるまでどんな字であるか分かりませんでした。
- ・いつ頃の人という質問に対して、最初、江戸時代後期と答えていましたが、放送後半の遅くに没年が文化7年で1810年ごろと説明があり、先に西暦何年ごろという説明があったほうが良いのでは、と感じました。
- ・句の読みあげはゆっくりと読んで、意味の説明までに間をとると、情景を想像したり、意味を考える時間がとれると思いました。また、意味を説明してから、もう一度読みあげて欲しかったです。

(高山 委員)

- ・まさに、地元密着型の番組であると感じました。
- ・富津市に素晴らしい女流俳人がいたという、富津市在住でなければ恐らく知り得ることがなかった情報を知ることができました。
- ・番組途中のリクエスト曲は、番組テーマとまったく異なる感じを受けました。リクエストではなく、テーマに沿った内容のものを番組側で選曲でも良いのでは、と思います。
- ・BGMの音をもう少し小さくしたほうが良いかな、と思いました。
- ・これからも地元の魅力発掘、発信のため様々な角度から番組制作をお願いします。

(藤波 委員長)

- ・「地域」、「文化」、「まちおこし」としての内容が含まれており、全体的に素晴らしい内容でした。
- ・知らなかったことを教えてもらうことは、誰でも吸収したくなるものだと思います。
- ・織本花嬌を紹介する時は、前後バラバラに行うのではなく、紹介の身として話題をそらさないようにした方が良いと思います。
- ・俳句を読む時は、ゆっくりと丁寧に読み、リスナーに聞いてもらう心配りが必要だと思います。最低でも3回は読んでもらいたかったです。
- ・俳句の堪能な方に解説をしてもらいたかった。
- ・リスナーに聴いてもらい、知ってもらい、興味を持ってもらう仕組みを、もう一度考えていただき、このような情報交換コーナーをもっと他局と行ってもらいたい。
- ・前半と後半の間にかかった曲「嵐を呼ぶ男」は、今回の放送内容には馴染まない感じがしました。

(放送事業者 池田)

- コミュニティエフエム局として、地域の文化や魅力を発信していく番組として今後も力を入れていきます。
- 放送内容によって楽曲の選定に注意を払い、番組を制作していきます。

以上